

GOVERNOR'S

Rotary
District2530



イマジン
ロータリー

MONTHLY LETTER 7

Rotary International District 2530

Vol.1

7

ガバナー月信 2022年 / 7月号

2022



雄国沼 ニッコウキスゲ

CONTENTS ガバナー月信 2022年7月号

RI 会長テーマ・プロフィール……………	2	地区チーム運営方針・地区幹事抱負…	5	2022-23年度 地区研修・協議会報告 …	12
ガバナーメッセージ……………	3	2022-23年度 地区組織図 ……………	6	国際大会報告・職業奉仕委員会……………	13
2022-23年度地区運営方針 ……………	4	2022-23年度 地区資金予算書 ……………	8	地区関係行事予定……………	14
地区活動目標・数値目標……………	4	ガバナー補佐方針……………	10	地区大会案内・公共イメージ QR コード …	16

国際ロータリー第2530地区 2022-23年度 ガバナー 佐藤正道

ガバナー事務局 〒966-0092 福島県喜多方市字清水台2-92 (南)中野商店2F
TEL : 0241-23-6016 FAX : 0241-23-6026 E-mail : 22-23sato@ri2530.com

RI 会長テーマ・プロフィール



2022-23 年度 RI 会長テーマ **IMAGINE ROTARY**

2022-23 年度 RI 会長

ジェニファー E. ジョーンズ

カナダ、オンタリオ州、ウィンザー・ローズランド RC

ウィンザーにある Media Street Productions Inc. の創業者兼社長。ウィンザー大学の理事長、ウィンザー・エセックス地域商工会議所の会頭を務めたほか、その奉仕活動が称えられ、YMCA Peace Medallion、Queen's Diamond Jubilee Medal を受勲し、カナダ人初のウェイン州立大学 Pecemaker of the Year Award を受賞しました。また、法学の博士号 (LL.D.) を有しています。

女性初の会長に選出されるにあたり、ジョーンズ氏はロータリーの「多様性、公平さ、インクルージョン (DEI) に関する声明」の重要性を理解しています。「多様性、公平さ、インクルージョンを最優先し、女性会員や 40 歳未満の会員を増やすには、まずリーダー陣がこれを実践し、そのメンバー構成に反映させていく必要があります」とジョーンズ氏。「どちらの目標でも 2 桁の成長を目指し、決してロータリーファミリー全体を見失わないようにします」

ジョーンズ氏は 1997 年にロータリーに入会し、RI 副会長、理事、研修リーダー、委員会委員長、モデレーター、地区ガバナーを歴任しました。また、ロータリー強化諮問グループ委員長を務め、ロータリーのブランド活性化の取り組みでリーダー的役割を担いました。現在は、ポリオ根絶活動のために 1 億 5000 万ドルのファンドレイジングを目指す、「End Polio Now: 歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会」の共同委員長を務めています。2020 年には、新型コロナウイルス対応のためのファンドレイジングを目的とした「#ロータリーによる対応」(#Rotary Respondes) のテレソン (Telethon) を先導。このイベントは 65,000 人以上が視聴しました。

ジョーンズ氏は超私の奉仕賞、ロータリー財団功労

表彰状を受賞しているほか、夫のニック・クラヤシッチさんと共に、アーチ・クランフ・ソサエティ、ポール・ハリス・ソサエティ、ロータリー財団遺贈友の会の会員となっています。

2022-23 年度会長イニシアチブ

多様性は、ロータリーの長年にわたる中核的価値観の一つであり、最大の強みです。ジョーンズ会長は、ロータリーの文化が多様性、公平さ、インクルージョン (DEI) を体現していくには、多くのことを行う必要があると理解しています。DEI タスクフォースからのフィードバックと指針の下、ロータリーは DEI へのコミットメントを強化し、ロータリーに関わる人たち全員の貢献を大切にし、公平さを助長し、人びとをより温かく迎えるインクルーシブな文化を創り出すことを目指しています。

2022-23 年度、ロータリーが人びとが温かく迎え入れ、よりインクルーシブなコミュニティとなれるよう、私たち一人ひとりが以下を行うことをジョーンズ会長は奨励しています。

ロータリーにおける DEI についてより良く理解する (定義の理解、および互いの違いを尊重し、大切にすることを含む)。

DEI がなぜクラブや地域社会にとって大切なのか、また、DEI の原則を取り入れることがいかにクラブの成長と強化につながるかを理解する。

DEI に対する認識を高める (地域社会を反映した、クラブの DEI 委員会の創設を含む)。

クラブや地域社会で DEI に基づいて行動を起こす (例: DEI について知識を深め、より効果的な推進者となれるよう、地域社会におけるさまざまなグループについて知る)。

ガバナーメッセージ



「情熱 行動 感動 共有」

国際ロータリー第 2530 地区
2022-23 年度ガバナー

佐藤 正道

(喜多方RC)

ロータリーが創立されて 117 年を迎えます。その間女性の入会が認められるまで、84 年の歳月を要しました。1950 年から 39 年間に亘る働きかけにより、1989 年の規定審議会で女性ロータリアンが認められました。それから 34 年、今年度初めて女性の RI 会長が誕生しました。その記念すべき年度にガバナーを務めさせていただくことになりました。

地区チームの皆さんのご協力をいただき、地区はもとよりクラブや会員皆さんの発展と活躍に寄与して参りたいと思いますので、1 年間よろしく願いいたします。

ジェニファー・ジョーンズ RI 会長は、今年度のテーマ

「**イマジン ロータリー**」を発表されました。世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすよう呼びかけました。

また、ロータリーの未来を強化するという強い信念から、DEI（多様性・公平さ・インクルージョン）を主要な優先事項とされ、会員の積極的な参加を促しています。

今私たちを取り巻くロータリーの環境はどうでしょうか。会員の減少や高齢化等によりクラブ活動が盛なくなっていないでしょうか。形式的な行事を一部の会員によって運営していないでしょうか。公平に多様な会員の意見に耳を傾けることによって、会員がクラブにおける存在意義を認識し、積極的に参加してくれるのだと思います。是非 DEI を取り入れ、クラブの

活性化をはかっていただきたいと思います。また、会員基盤の強化には会員構成も重要です。望ましい会員構成は、地域社会を反映していることだと言われます。ジェンダー比率、年齢構成、職業の比率等、地域社会の縮図的なクラブが地域に受け入れられていくのでしょうか。国際ロータリーの会員数は、ここ 20 年近く 120 万人前後で横ばいですが、その内訳は男性会員の大幅な減少を女性会員が埋めるという形で維持しています。女性会員が入会していなければ会員数は激減していたです。会員の減少に憂慮しているのであれば、ジェンダー平等の取り組みを始めましょう。

未だ COVID-19 は終息していませんが、世界では規制の解除が広がっており、日本においても制限緩和が進んでいます。もうコロナウイルスを言い訳に事業を取りやめることはできない状況になりつつあります。まずは如何にしたら実行できるかを念頭に入れ、細心の注意を払い行動する必要があると思います。いつかコロナウイルスが終息したときに、対策を講じ前向きに行動してきたのか、それとも端から諦めて行動せずにきたのかで、組織の姿も大きく変わることでしょう。これを踏まえ、今年度の地区行事は可能な限り、対面形式で行いたいと思います。

PETS 開催前に、クラブ会長エレクトよりそれぞれの目標をご提示いただきました。その目標が実現できるよう、地区チーム一丸となり、クラブの御用聞きとなって、皆さんと共に、情熱をもって行動し、感動を共有する姿をイマジンしましょう。

2022-23 年度 地区運営方針、地区活動目標・数値目標

国際ロータリー第 2530 地区 2022-23 年度

「地区スローガン」

情熱 行動 感動 共有

情熱（熱い想い）をもって行動し、感動（成果）を共有（共に分かち合う）しよう

「地区方針」

国際ロータリー 2022-23 年度年次目標を達成するため、DEI を取り入れ、行動規範を遵守し、ロータリーの行動計画を実践します。

やらされ感からやりがい感へ。会員とクラブが輝く地区づくり。
クラブが自主性を持って活動できるよう、クラブが主役の地区運営を目指します。
クラブの御用聞きとなってクラブを支援していきます。

「地区重点目標」

1. DEI を取り入れた会員増強拡大

DEI を取り入れることによってクラブ環境を整え、現状を分析し、クラブの望む姿を描き、会員の積極的な参加を促しましょう。

2. よりインパクトのある奉仕事業の実践

短絡的な奉仕活動でなく、持続可能な変化をもたらす事業を進めましょう。地域のニーズを掘り起こし、調査を入念にし、その効果を予測し、成果を測定することによって、インパクトのある奉仕事業が行えます。

3. 活動の情報発信

たとえ素晴らしい活動を行っていても、他の人に伝わらなければ、共感や協力を得ることができません。多くの人に私たちの活動を広めましょう。

4. ネットワークの構築

ロータリーファミリーはもとより、私たちの想いに賛同し活動する人々と交流しましょう。

5. ポリオ根絶

野生株のポリオの発症例がなくなって6年を経過しないと、根絶したことはありません。その間毎年世界中の4億5千万人の子供たちにワクチンが投与されます。

「分野別目標」

会員増強拡大・DEI

画一的ではなく、クラブがイメージする望ましい会員構成（地域社会を反映）を支援。
会員規模に応じた対応 SAKUJI 作戦の実施
DEI の理解を深めるとともに、革新的なクラブの設立
新会員へのサポート

公共イメージ・IT

クラブ活動の情報発信
情報発信のためのホームページ・SNS 等の活用
地区ホームページにてクラブの奉仕活動を集約し発信
クラブセントラルの人力を支援し、クラブがイメージする目標設定をサポート
オンライン会議のサポート

職業奉仕

しあわせの島（くに）ふくしま職業奉仕宣言の活用
DEI を取り入れウィズコロナに対応した、新しい時代の職業奉仕のありかた

社会奉仕

クラブの奉仕活動の情報を収集する。
よりインパクトのある奉仕活動立案のための研修及び支援
クラブの奉仕活動をサポート

国際奉仕

RI3350 地区（タイ・ミャンマー・カンボジア・ラオス・ベトナム）との情報共有
国際奉仕支援地域の情報収集及び提供
オンツームメルボルのサポート

青少年奉仕

インターアクト

インターアクトクラブ活動の支援及び指導
ロータリークラブ、ローターアクトクラブとの連携
ロータリー賞挑戦のサポート

RYLA

地区 RYLA の再検討と実施
第 16 回全国 RYLA 研究会に向けての準備

青少年交換

長期交換事業の実施及び短期交換事業の検討

ローターアクト

ローターアクターへロータリーについての研修
基盤強化のための活動
地区委員会を活用し、奉仕活動の実践
スポンサークラブとのグローバル補助金事業
活動資金調達のための計画立案
ロータリークラブ、インターアクトクラブとの連携
ロータリー賞挑戦のサポート

学友

IAC、RYLA、ROTEX、RAC、財団、米山学友の情報
収集及びネットワーク構築
学友の卓話者リスト作成

ロータリー財団

ポリオについての理解を深める
DDF の 20% をポリオプラス基金へ
クラブ事業へポリオプラス基金を関係づけし寄付を募る

地区補助金の活用についての指導及び支援
 ファンドレイジング目標
 年次基金 \$ 150/人
 ポリオプラス基金 \$ 30/人
 ベネファクター各クラブ1名
 寄付ゼロクラブゼロ

米山記念奨学会

寄付目標
 普通寄付 5,000 円/人
 特別寄付 10,000 円/人
 寄付ゼロクラブゼロ
 奨学生の積極的な受入と親交
 RI3350 地区との連携

RLI

RLI 研修への積極的な参加を促す
 ディスカッションリーダーの育成及びスキルアップ
 地区セミナーの支援

研修

地区委員会の指導及び支援
 セミナーにディスカッションを取り入れる
 CLP の支援

戦略計画

地区戦略計画の策定
 クラブ戦略計画の支援

地区・クラブ規定

地区運営規定の見直し
 クラブ定款・細則の見直し支援

ロータリーなんでも相談室

ロータリーよろず相談所
 各委員会より相談委員を選出、会員やクラブからの問い合わせに対応
 相談案件のデータベース作成

「地区チーム運営方針」

- ・ガバナー補佐の積極的な関与(クラブのサポート)
- ・DEIの取り組み。(各チームがDEIに基づき活動する。)
- ・ロータリーの行動規範を遵守する。
- ・地区は、クラブの御用聞きの姿勢で臨む。
- ・委員会を開催する。
進捗状況を把握する。
より多くのメンバーが参加できるよう配慮する。
開催日程をガバナー事務所又は地区事務所へ報告する。
委員会欠席者へのケアをする。
- ・担当委員会の内容を地区研修・協議会までに熟知しておく。
- ・セミナー開催時には、必ずグループ分けによるディスカッションを取り入れる。
- ・地区委員は極力RLIを受講する。

地区幹事抱負



地区幹事

佐藤 日出夫

(喜多方RC)

今年度、地区幹事をさせていただく事になりました喜多方RC所属の佐藤日出夫と申します。佐藤正道ガバナーがガバナーノミニーを引受ける際の男気に感銘を受け地区幹事をお引受けしたと云う単純な男でございます。

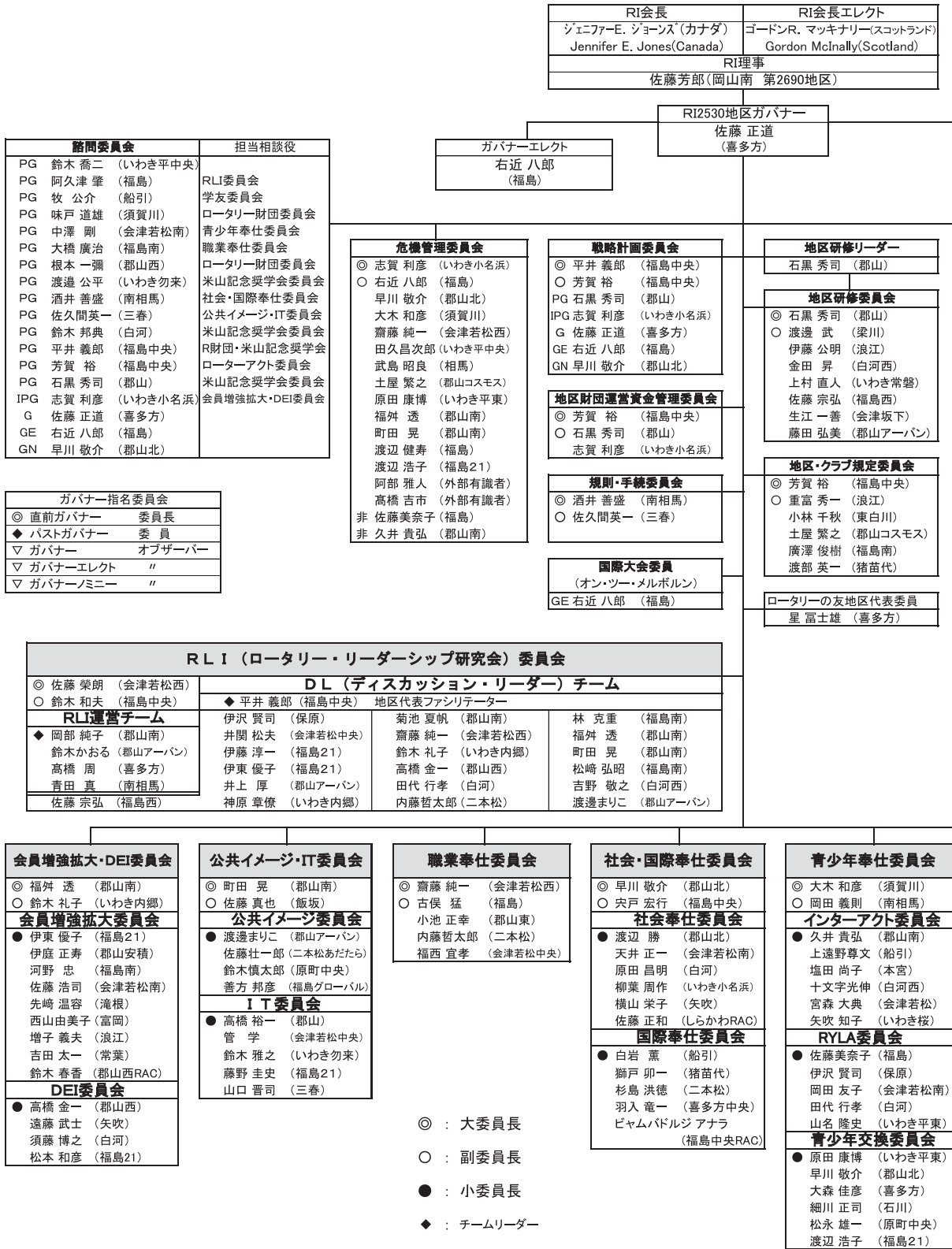
それまでは、定款・細則、手続要覧、ロータリー章典、MyRotary、は必要に迫られて必要最低限なものだけを調べる程度でございました。それが、昨年9

月より毎日1度はMyRotaryへログインする生活にかわってしまったのです。

現在も、勉強の日々が続いております。14か月後には、「結構たいへんだったけれど何とか佐藤正道ガバナーのサポートが出来たかな。少しは地区のお役にも立てたのかな」と話せる自分になっていれば良いなと考えております。

今後は、石黒秀司地区研修リーダーはじめ多くのパストガバナーの皆様のご指導を賜り地区運営に努めて参ります。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2022-23 年度 地区組織図



ガバナー/ノミニー
早川 敬介
(郡山北)

副ガバナー
石黒 秀司
(郡山)

規定審議会代表議員
(一社)国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構 社員 PG 酒井 善盛
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事 PG 佐久間 英一
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会評議員 PG 平井 義郎
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会広報委員会委員 PG 渡邊 公平
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会広報委員会委員 PG 酒井 善盛

分区	中央分区	県北第一分区	会津分区	いわき分区	県北第二分区	県南分区	相双分区	県中分区
ガバナー補佐	初瀬 照夫 (郡山)	箭内 一典 (福島中央)	猪股 純一 (田島)	山名 二郎 (いわき平東)	網代 智明 (福島東)	郡部 仁喜 (須賀川ぼたん)	内海 金男 (原町中央)	杉山 元巳 (船引)
クラブ名 会長氏名	郡山	福島	会津若松	いわき平	飯坂	白河	原町	本宮
	佐藤 尚宏	相良 元章	佐藤 武司	野沢 達也	石川 邦俊	渡辺 友彦	佐藤 清壽	佐々木嘉宏
	郡山西	二本松	喜多方	いわき小名浜	福島北	須賀川	相馬	三春
	森尾 和衛	鈴木 一弘	伊藤 二郎	吉田 一巳	樋口 幸一	藤田 元	佐伯 裕一	橋本 国春
	郡山東	福島南	会津若松西	いわき勿来	保原	東白川	浪江	常葉
	過足 和茂	渡邊 正義	鹿目 長人	星 行夫	菅野 拓司	大縄 剛	松原 茂	土屋 省一
	郡山南	福島西	猪苗代	いわき内郷	福島東	石川	富岡	滝根
	村上 靖	高梨 哲男	成井 理人	渡邊 邦雄	安齋 文夫	三瓶 光雄	藤田 大	白石 勝敏
	郡山北	福島中央	会津坂下	いわき常磐	梁川	矢吹	原町中央	船引
	國府田 明弘	佐藤 元彦	中島 信洋	金土 重順	佐藤 隆	遠藤 武士	菅野 弘陽	宗像 伸二
	郡山西北	二本松あたら	田島	いわき平東	川俣	白河西	南相馬	小野
	佐藤 義康	藤井 利則	渡部 高幸	山野辺 浩良	大内 徳美	高畠 裕	川崎 博祐	舞木 富雄
	郡山安積	福島21	会津若松南	いわき四倉	福島しんたつ	須賀川ぼたん		
	鈴木 聡	氏家 健	尾崎 友良	新妻 芳文	西川 博美	水上 哲夫		
	郡山アーバン		会津若松城南	いわき平中央		白河南		
	味戸 誠一郎		菊地 知	鈴木 一永		箕輪 正男		
郡山コスモス		喜多方中央	いわき桜					
桑原 雅人		鈴木 淳一	船生 美由紀					
福島グローバル		会津若松中央						
山田 寛		星 美榮子						
分区幹事	郡山 幕田 宙晃	福島中央 佐藤 龍史 高橋 正見	田島 渡部 憲一 細井 信浩	いわき平東 庄司 伸吾	福島東 佐藤 悦夫 榎木 茂	須賀川ぼたん 味戸 雄二郎	原町中央 松永 雄一	船引 白石 正一

ロータリーアクトクラブ

佐藤 正治
地区代表(喜多方)

会津若松南

郡山西

堀下 慎哉

喜多方

齋藤 菜生

福島学院大学

桜の聖母短大

福島中央

ビヤムパドルジアナラ
テクノアカデミー浜

しらかわ

佐藤 正和

地区幹事

佐藤 日出夫 (喜多方)

地区副幹事

櫻内 秀司 (喜多方)

鈴木 朝男 (喜多方)

渡邊 仁 (喜多方)

瀬野 勝治 (喜多方)

飯塚 幸作 (喜多方)

山田 真司 (会津若松西)

秦 郁子 (猪苗代)

小川 久昭 (会津坂下)

星 健一 (田島)

小川 洋正 (会津若松城南)

新國 善信 (喜多方中央)

飯盛 尚子 (会津若松中央)

蛭田 修二 (いわき小名浜)

坪井 大雄 (福島)

地区資金委員会

◎ 中野 博正 (喜多方)

○ 川田美緒子 (喜多方中央)

菅原 寛 (いわき小名浜)

森岡 幸江 (福島)

会計監事

高橋 周 (喜多方)

高久 敏雄 (会津若松西)

村田 裕之 (いわき小名浜)

地区研修・協議会実行委員会

◎ 櫻内 秀司 (喜多方)

○ 石嶋 和義 (喜多方)

月信委員会

◎ 五十嵐健展 (喜多方)

○ 小熊 幸司 (喜多方)

密井 康一 (喜多方)

丹治 正博 (福島)

地区大会実行委員会

◎ 星 富士雄 (喜多方)

○ 五十嵐健展 (喜多方)

○ 角田 龍一 (喜多方)

● 鈴木 朝男 (喜多方)

◎ 委員長
○ 副委員長
● 幹事

ロータリーアクト委員会

◎ 渡辺 浩子 (福島21)

安藤 正道 (福島中央)

木村 春夫 (福島北)

佐藤 克敏 (郡山西)

◎ 佐藤 正治 (喜多方RAC)

齋藤 菜生 (喜多方RAC)

堀下 慎哉 (郡山西RAC)

学友委員会

◎ 廣澤 俊樹 (福島南)

○ 吉田 佳代 (いわき桜)

佐藤美奈子 (福島)

フナカ・クマラ (福島グローバル)

原田 康博 (いわき平東)

久井 貴弘 (郡山南)

渡辺 浩子 (福島21)

ロータリー財団委員会

◎ 田久昌次郎 (いわき平中央)

○ 林 克重 (福島南)

補助金委員会

● 太田 丈人 (いわき小名浜)

黒澤 信之 (福島西)

高緑 勝一 (郡山安積)

中目 公英 (白河西)

吉田 佳代 (いわき桜)

久家 真広 (郡山西RAC)

資金推進・ポリー委員会

● 高萩 勝利 (いわき勿来)

菊地 和宏 (福島南)

菊地 淳 (いわき平東)

土屋みよ子 (猪苗代)

財団資金管理委員会

● 鈴木 清友 (いわき平中央)

菅野 晋 (福島)

吉田 和美 (郡山北)

米山記念奨学会委員会

◎ 武島 昭良 (相馬)

○ 菅野 秀士 (郡山)

米山記念奨学会推進委員会

● 泉田 征慶 (浪江)

佐藤 典祐 (会津若松)

八幡 恭朗 (いわき平)

吉田 喜一 (郡山北)

米山記念奨学会学友委員会

● 小林 悦子 (郡山アーバン)

五十嵐一夫 (会津坂下)

一條 雅敏 (福島しんたつ)

大越 彰 (須賀川)

フナカ・クマラ (福島グローバル)

米山記念奨学会選考委員会

● 中原 喜範 (郡山)

今川 了一 (郡山南)

半澤 泰夫 (福島北)

矢内 好男 (船引)

山口 京子 (川俣)

2022-23 年度 地区資金予算書

収入金額 51,947,295 円
 支出金額 51,947,295 円
 差し引き金額 0 円

2,300 人 (会員数見込み)

【収入の部】

(単位：円)

項目	前年度予算	本年度予算	前年度比較	摘要
地区賦課金	34,500,000	34,500,000	0	15,000 円×会員数
地区大会賛助金	6,900,000	6,900,000	0	3,000 円×会員数
青少年奉仕助成金	2,300,000	2,300,000	0	1,000 円×会員数
第 2530 地区災害特別基金	2,300,000	2,300,000	0	1,000 円×会員数
地区 I T 整備費	1,150,000	0	△ 1,150,000	(500 円×会員数)
ガバナー活動費(RI 配分予算)	1,536,600	1,947,295	410,695	RI の指導により項目として計上
雑収入	0	0	0	
前年度繰越金	2,000,000	4,000,000	2,000,000	
総計	50,686,600	51,947,295	1,260,695	

【支出の部】

(単位：円)

項目	前年度予算	本年度予算	前年度比較	摘要
(1) 委員会活動資金	9,620,000	10,112,000	492,000	
1 会員増強拡大・DEI 委員会	1,000,000	700,000	△ 300,000	
委員会活動費	1,000,000	700,000	△ 300,000	
2 公共イメージ・IT 委員会	650,000	997,000	347,000	
委員会活動費	650,000	997,000	347,000	
3 職業奉仕委員会	300,000	330,000	30,000	
委員会活動費	300,000	330,000	30,000	
4 社会・国際奉仕委員会	500,000	400,000	△ 100,000	
社会奉仕委員会	200,000	150,000	△ 50,000	
国際奉仕委員会	200,000	150,000	△ 50,000	
その他の活動費	100,000	100,000	0	
5 青少年奉仕委員会	5,000,000	4,640,000	△ 360,000	
(a) インターアクト委員会	1,000,000	1,000,000	0	
(b) ローターアクト委員会	1,000,000	0	△ 1,000,000	
(c) RYLA 委員会 (青少年指導者育成)	1,000,000	940,000	△ 60,000	
(d) 青少年交換	1,200,000	2,600,000	1,400,000	受入・派遣学生各 2 名、受入 RC への補助金を含む。
(e) その他の活動費	800,000	100,000	△ 700,000	RIJYM 年会費、YPLI 保険料は地区外関係費へ移動
6 ローターアクト委員会	0	1,440,000	1,440,000	
(a) RAC 活動補助費	0	240,000	240,000	3 万円×8 クラブ
(b) RAC 年次大会活動補助費	0	250,000	250,000	
(c) 全国ローターアクト研修会参加費補助	0	200,000	200,000	
(d) その他の活動費	0	750,000	750,000	会長幹事会、地区協議会、地区内外活動費等
7 学友委員会	300,000	50,000	△ 250,000	
委員会活動費	300,000	50,000	△ 250,000	
8 ローターリー財団委員会	350,000	300,000	△ 50,000	
(a) 補助金委員会	100,000	80,000	△ 20,000	
(b) 資金推進・ポリオ委員会	150,000	120,000	△ 30,000	
(c) 財団資金管理委員会	50,000	50,000	0	
(d) その他の活動費	50,000	50,000	0	
9 米山記念奨学会委員会	200,000	200,000	0	
(a) 米山記念奨学会推進委員会	50,000	50,000	0	
(b) 米山記念奨学会学友会委員会	50,000	50,000	0	
(c) 米山記念奨学会選考委員会	50,000	50,000	0	
(d) その他の活動費	50,000	50,000	0	
10 地区研修委員会	200,000	155,000	△ 45,000	
委員会活動費	200,000	155,000	△ 45,000	
11 危機管理委員会	100,000	100,000	0	
委員会活動費	100,000	100,000	0	
12 地区・クラブ規定委員会	120,000	100,000	△ 20,000	
委員会活動費	120,000	100,000	△ 20,000	
13 RLI 委員会	800,000	700,000	△ 100,000	
委員会活動費	800,000	700,000	△ 100,000	
14 その他の委員会活動資金	100,000	0	△ 100,000	
委員会活動費	100,000	0	△ 100,000	

【支出の部】

(単位：円)

項目	前年度予算	本年度予算	前年度比較	摘要
(2) 行事費	9,390,000	9,690,000	300,000	
A 地区大会	6,900,000	6,900,000	0	
B 行事補助等	2,490,000	2,790,000	300,000	
(a) 地区研修・協議会	500,000	500,000	0	
(b) I M (分区補助)	640,000	640,000	0	8万円×8分区
(c) ガバナーエレクト歓送会	100,000	100,000	0	
(d) 会長エレクト研修セミナー	300,000	300,000	0	
(e) 事務担当者セミナー	250,000	250,000	0	
(f) 新会員セミナー (分区補助)	400,000	400,000	0	5万円×8分区
(g) 地区チーム研修セミナー	300,000	300,000	0	
(h) 地区リーダー研修セミナー	0	300,000	300,000	
2. 地区運営費	25,396,600	24,637,295	△759,305	
(1) 事務所費	15,400,000	15,400,000	0	
A ガバナー事務所費	10,000,000	14,400,000	4,400,000	ガバナー事務所、地区事務所
B ガバナーエレクト事務所費	5,400,000	1,000,000	△4,400,000	
(2) 会議費	2,160,000	2,140,000	△20,000	
A 諮問委員会	300,000	300,000	0	
B ガバナー補佐会議	300,000	300,000	0	
C ガバナー補佐活動費	480,000	480,000	0	
D 地区委員会総会	900,000	900,000	0	
E 戦略計画委員会	50,000	50,000	0	
F R I 規定検討委員会	50,000	10,000	△40,000	
G 地区財団運営資金管理委員会	30,000	50,000	20,000	
H 地区幹事等会議	50,000	50,000	0	
(3) ガバナー月信費	3,600,000	3,600,000	0	
(4) 各委員会事務所費	500,000	500,000	0	
(5) ガバナー活動費	1,536,600	1,947,295	410,695	
(6) その他の運営費	1,200,000	350,000	△850,000	
(7) 地区広報活動費	1,000,000	700,000	△300,000	新聞、ラジオ
3. 地区外関係費	3,680,000	4,871,000	1,191,000	
(1) 分担金・募金・協力金等	1,380,000	1,771,000	391,000	
A ガバナー一会分担金	460,000	460,000	0	上期会員数×100円+下期会員数×100円
B ロータリー文庫分担金	690,000	460,000	△230,000	上期会員数×100円+下期会員数×100円
C 米山梅吉記念館募金	230,000	230,000	0	上期会員数×100円
D R I J Y M 維持協力金	0	460,000	460,000	会員数×200円
E Y P L I 保険料	0	161,000	161,000	会員数×70円
(2) 地区外会議費	1,000,000	1,800,000	800,000	
A ロータリー研究会	900,000	1,700,000	800,000	
(a) 研究会出席補助	700,000	1,500,000	800,000	ロータリー研究会出席補助
(b) ガバナー・元・次期ガバナー懇親会補助	200,000	200,000	0	
(c) クラブ活性化セミナー	0	100,000	100,000	
B ガバナー連絡会	100,000	100,000	0	
(3) 特別補助	1,300,000	1,300,000	0	
A 国際協議会出席	700,000	700,000	0	
B 国際大会派遣	400,000	400,000	0	
C 規定審議会出席	200,000	200,000	0	3年間積立
(4) その他	0	0	0	
4. 地区災害特別基金	2,300,000	2,300,000	0	地区災害特別基金口座へ振替
5. 予備費	300,000	337,000	37,000	
6. 次年度繰越金			0	
総計	50,686,600	51,947,295	1,260,695	

各項目間の流用はガバナーに一任する

ガバナー補佐方針



中央分区

初瀬 照夫
(郡山RC)

会員の皆様方と親交を深めさせて頂きながら、各クラブから「元気」を頂きます

ロータリーは品格であるといわれます。「謙虚」と「寛容」です。「寛容」とは様々な価値観を受け入れる力、思い通りにいかないことに我慢する耐力であると思います。「ロータリーの目的」にありまじうように「奉仕の理念」とは「思いやり」や「優しさ」であり職業を通してロータリアンが自ら身につけてゆくものです。ロータリーのことは長くやっていたらそのうち解るといわれています。例会を通じて切磋琢磨し身につけてゆくものです。私はロータリーはある意味で「お米研ぎ」だと思っております。お米は私達であり、かき混ぜるのは私達の目標、模範、象徴である会長です。また、クラブの先輩であり、クラブのルールです。かき混ぜられながら、私たちは擦れ合ってきた水になってゆきます。

ロータリーを咀嚼して自分の言葉でロータリーを語れる人、皆が良くなって初めて自分が良くなる。自分は後なんだという痛みが判る感性をお持ちの方、「奉仕の理念」を理解し、世の中のためにその精神を広めようという強力な意志をお持ちの方。それが立派な、真のロータリアンだと思いますが、いかがでしょうか？今年1年間よろしくお願い申し上げます。



県北第一分区

箭内 一典
(福島中央RC)

本年度県北第一分区ガバナー補佐を務めることになりました箭内一典です。よろしく申し上げます。

さて、佐藤正道ガバナーは地区目標の中で「やらされ感からやりがい感へ。会員とクラブが輝く地区づくり。クラブが自主性を持って活動できるよう、クラブが主役の地区運営を目指します。クラブの御用聞きとなってクラブを支援していきます。」と表明し、「情熱・行動・感動・共有」を地区スローガンに掲げました。

私も佐藤正道ガバナーと県北第一分区7クラブとの「御用聞きの使い走り」として1年間活動したいと思います。また、特に下記の四つに心がけ努めたいと思います。

1. 各クラブがそれぞれの現状を分析し、自主的に定めた年度目標を達成できるよう、ガバナー及び地区委員会と連携したサポート
2. 地域ニーズがあり、インパクトのある持続可能な変化をもたらす事業を、クラブが多くの会員の積極的参加で進めるためのアドバイス
3. 情報入手やweb会議の参加に必須となっている、オンラインツールの利用促進を図る。
4. クラブ定款、細則の見直しとクラブセントラルへの目標入力と利用促進を促す。



県北第二分区

網代 智明
(福島東RC)

佐藤正道ガバナーのもと県北第二分区ガバナー補佐を務めることになりました福島東ロータリークラブの網代智明です。どうぞ宜しくお願いします。

今回は新型コロナウイルス感染防止のために第3回目のガバナー補佐予定者研修会、PETS、地区研修協議会はオンラインでの開催となりました。やむを得ないことではありますが、リアルでのコミュニケーションが大切であることを感じております。佐藤正道ガバナーの地区スローガン「情熱」「行動」「感動」「共有」の実現のために、今後新型コロナウイルス感染がどのようになっているか見通せませんが、感染防止を徹底しながら直接のコミュニケーションを行ってまいりたいと思います。ロータリー活動の原点がこのスローガンには込められております。私自身ロータリーについて学びながら、ガバナー、地区委員会と区内各クラブとのパイプ役としてお役に立てるように努力してまいります。皆様のご指導とご支援を宜しくお願い致します。



県南分区

郡部 仁喜
(須賀川ぼたんRC)

前ロータリー一年度は、コロナ過の影響を受けて、多くのロータリー活動・諸会議・セミナー等が縮小またはズーム会議での開催を余儀なくされました。ここにきて多少影響も薄らいできた様に思います。活動等も大きく復活できることを願いたいものです。

今年度佐藤正道ガバナーが掲げる地区方針の中に、年次目標を達成するため、DEIを取り入れたロータリー行動計画を実践するとあります。そのためにも、区内各ロータリークラブと地区の橋渡し役となる様各クラブを訪問、連絡を行い、クラブの活動状況の把握・課題の解決、または地区活動と地区セミナー等への参加をお願いし、各クラブ運営の活性化へとつなげていきます。

地区スローガンの情熱・行動・感動・共有、この4つの言葉が佐藤正道ガバナーの思いのすべてだと思います。私自身は、補佐としてこのことを胸にとめ1年間務めて参りたいと思いますので、区内の皆様宜しくお願いいたします。



会津分区

猪股 純一
(田島RC)

今年度、会津分区のガバナー補佐を拝命いたしました田島ロータリークラブ所属の猪股純一です。会津分区10クラブ会員の皆様、2530地区の方々の協力を得て精一杯努める所存です、よろしくお願ひ致します。

今年度の国際ロータリー会長ジェニファー E. ジョーンズ氏はイマジンロータリーを掲げ、ロータリーにおけるDEIをよく理解し、ロータリーが人々を暖かく迎え入れ、よりインクルーシブなコミュニティになる事を奨励しています。これを受けて佐藤正道ガバナーは、地区スローガンとして「情熱」「行動」「感動」「共有」を提唱され、その為にDEIを取り入れ、行動規範を遵守し、ロータリーの行動計画を実践する為にクラブの御用聞きとなってクラブを支援してこうとされております、私はその為にクラブとの橋渡しに務め、また分区内のより一層の融和に寄与していく所存です、よろしくお願ひします。



いわき分区

山名 二郎
(いわき平東RC)

今年度、いわき分区ガバナー補佐の大役を拝命致しました。私自身、丁度人生の半分37年をロータリアンの一人として活動して来たこととなります。

今年度RI会長ジェニファー E. ジョーンズ氏の「IMAGINE ROTARY」のテーマのもとに、RI第2530地区 佐藤正道ガバナーがリーダーシップを発揮されることに大いに期待し、その具現化の為に、いわき分区も全員でバックアップできればと考えております。どうぞご理解、ご協力をお願い申し上げます。

世界・地域は幾多の問題を今抱えております。ロータリーのスピリットを糧に、一致団結して乗り越えて行きたいとの思いです。

今年一年ご指導、ご協力を宜しくお願ひいたします。



相双分区

内海 金男
(原町中央RC)

本年度、ガバナー補佐を務めることになりました原町中央ロータリークラブの内海金男と申します。

ロータリー歴9年とまだまだ、不理解です。この歴史あるロータリークラブの、ガバナー補佐の大役を拝命致し心痛の思いです。それでも与えられた事をチャンスと思ひ、務めさせていただきます。

今年度の目標

2022-23年度RIテーマ IMAGINE ROTARY
(地区スローガン) 情熱、行動、感動、共有、熱い思いを持って行動し、成果を共に分かち合ひましょう。
(地区方針)

- 1) やらされ感から、やりがい感へ
- 2) 会員とクラブが輝く地区作り。
- 3) クラブが自主性をもって活動できるよう、クラブが主役の地区運営を目指します。
- 4) クラブの御用聞きとなってクラブを支援します。

相双分区6クラブは長い歴史と伝統があり、特性があり、また同じ問題も抱えています。

これらを重んじ、会長幹事会、クラブ訪問を通してコミュニケーションを取りながら目標達成に向けて頑張ります。この一年間皆様のご協力がなければ達成できません。松永雄一分区幹事共々この一年間、お世話になりますのでよろしくお願ひ申し上げます。



県中分区

杉山 元巳
(船引RC)

県中分区ガバナー補佐を拝命しました、船引RCの杉山元巳です。

コロナウイルスが世界中で猛威を振るってから約三年経過しました。

これまで経験をしたことの無い苦しい日々を過ごしている時、当然、ロータリー活動にも大きな変化を余儀なくされています。

しかし、苦しい日々の生活の中でこれまで「出来ない」「無理」とあきらめていたことが出来るようになったことも沢山あります。

佐藤ガバナーは、「クラブが主役」地区は御用聞きになるとの考えを示され地区スローガンは『情熱・行動・感動・共有』となりました。

補佐はつなぎ役として、この目標達成に向かって、地区とクラブの懸け橋になるように努力してまいります。

皆様にはご支援、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

2022-23 年度 地区研修・協議会報告



地区幹事

佐藤 日出夫

(喜多方RC)

地区研修・協議会は今年も5月15日(日)にZoom開催となってしまいました。当初、佐藤正道ガバナーエレクトはリアル開催で計画を進めておりました。折角喜多方へ来ていただくのであれば、是非喜多方ラーメンを召し上がっていただきたい。どのようにすれば、皆様に喜んでいただけるおもてなしが出来るか、いろいろと検討を重ねておりました。しかし、4月14日に福島県で新型コロナウイルス対策本部委員会議が開催され県内全域での県独自対策「感染症拡大防止重点対策」が5月15日まで再延長することが決定されました。

我々は4月16日(土)夜に緊急地区研修・協議会実行委員会を開催致しました。佐藤正道ガバナーエレクトの希望はリアル開催だったのですが、ゴールデンウィーク後に感染者数が増えることが予想されるとの意見が多く、実行委員会ではリモートによる開催への変更が決定されました。しかし、この決断に至った一番の理由は実行委員会で共有していたガイドラインによる事でした。佐藤正道ガバナーエレクトはクラブ会長就任時にもガイドラインを作成し、クラブ例会の運営を行って参りました。

個人の意見をまとめる事は難しいものです。

佐藤正道ガバナーエレクトの希望により地区・クラブの運営の羅針盤となるガイドラインを皆様にお示しする予定でございます。

さて、地区研修・協議会について述べさせていただきます。

9時より会長会が開催されました。ガバナー、ガバナーエレクトのあいさつに続き議案説明が行われました。①2021-22年度地区大会決算②2022-23年度地区賦課金(案)③2022-23年度地区予算(案)が菅原地区資金委員長、中野次期地区資金委員長より説明されました。本来は当該会長会で各クラブ会長エレクトの皆様にご承認をいただくものだったのですが、今年は各クラブへのご案内が4月27日発送と遅れてし

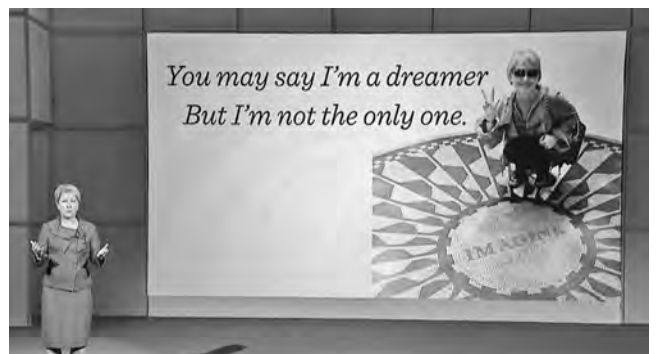
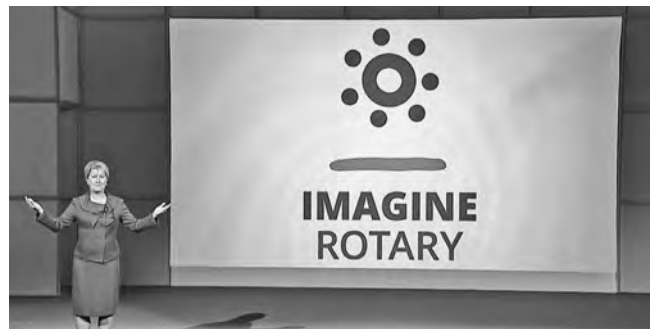
まいましたので、5月31日期限内でクラブ投票をしていただくことになりました。その後、2021-22年度中間決算報告と2022-23年度行事予定が報告されました。

10時より全体会議が開催されました。各種ご挨拶の後、佐藤正道ガバナーエレクトより「次期地区方針」に関する説明と酒井善盛パストガバナーより「規定審議会報告」が行われました。

昼休み休憩を挟んで13時より10の分科会が開催されました。参加者が500名を越えるZoom会議なので、混乱する事は想定内ではありましたが、地区公共イメージ・IT委員会の方々のご協力によって開催できたものと感謝しております。

2時間の分科会終了後に全体会議へ移動し閉会セレモニーが開催されました。

参加された皆様のご意見を伺うと、未だZoomを経験した方が多くはなかった事。例会場へ集合して参加いただいた方々には、PCの台数が足りないやらハウリングの問題やらと改善すべき問題があることに気づかせていただきました。



ヒューストン国際大会に参加して



ガバナーノミニー
社会・国際奉仕委員長

早川 敬介
(郡山北RC)

本年度 佐藤正道ガバナーより、国際奉仕委員会がガバナーエレクトと共に次回の「国際大会 オン・ツー・メルボルン」に対応するとの方針が提示されました。一度も国際大会への参加の経験がありませんでしたので、下見として参加いたしました。

何度も国際大会参加の経験のある「喜多方RC」の皆様とご一緒させていただき、多くのことを学ぶことが出来ました。特に、アメリカ入国に際し COVID-19 対応により PCR 検査で「陰性の証明」が必要で、出発の1日前に羽田空港第3ターミナルで受けたこと。

日本への帰国に際しても、出国前72時間以内でのPCR検査で「陰性の証明」が必要で、国際大会会場1階で受診、My SOS（入国者健康居所確認アプリ）ソフトをインストールし、「陰性の証明」をアップし、承認

が必要なこと。

宿泊したヒルトンホテルでの Wi-Fi 状態が悪く、通信が出来ないなど、大変な事態にも対応できました。

「料理メニュー」や「購入レシート」を携帯アプリの日本語翻訳が大活躍で、日本には知ることなかった機能の勉強にもなりました。

多くの国からの開催式参加は全く壮観でした。様子の詳細は My ROTARY のサイトで「ヒューストン国際大会」から観ることが出来ます。

次回の 2023.5.27 ~ 31. メルボルン国際大会の登録もいたしました。



職業奉仕委員会



何故職業奉仕が
金看板なのか

委員 福西 宜孝
(会津若松中央RC)

「何故職業奉仕がロータリー（以下「R」という）の金看板なのか」について、その実際上の根拠を考えてみる（理論上の根拠は、「Rの目的」にある）。

1 職業奉仕の宿命性

職業人は、仕事を行う際、①いかに利益を上げるか（採算性、利己）、②職業倫理上問題がないか（倫理性、利他）という二点に配慮している。②を全く意識せずに仕事を行うことは困難であろう。

ところで、職業奉仕の基本は、「職業倫理に則り、利己と利他の調和を図って職業を営むこと」にある。従って（上記②に配慮しているのだから）、職業人は、職業を営む以上職業奉仕という問題に直面（意識）せざるを得ない宿命にある。

2 職業奉仕の日常性

職業人は、通常、休日を除いて毎日仕事に従事している。前述したように、職業上の仕事を行うことは「職業奉仕」に直面することであるから、職業人は、日常的に「職業奉仕」という問題に向き合わざるを得ないことになる。

3 職業奉仕の根源性

私たちが生きる為には生活費を稼ぐ必要があり、「通常」職業に就いて働かなければならない。職業に就いて仕事をするとは、人が生きることを根底で支えている。

また、人は、職業に時間とエネルギーの多くを費やしている。仕事を通して世の中に価値を生み出し、社会に参加し、世の中と関わっている。

結局、職業に取り組む姿勢は、ほとんど人生を歩む姿勢そのものといえよう。従って、職業奉仕は、正に生き方の根源に関わる奉仕といえよう。

4 まとめ

このように、職業奉仕は、「全ての職業人が否応なく日常的に直面する根源的な奉仕」という意味で他の奉仕とは異なり、「Rの金看板」というべきである。

地区関係行事予定（2022）

○印はガバナー公式訪問

2022年								
7月			8月			9月		
			会員増強・新クラブ結成推進月間			基本的教育と識字率の向上月間		
1	金	第1回ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	1	月	○福島西	1	木	○二本松あだだら
2	土		2	火	○郡山コスモス	2	金	
3	日	前期地区委員会総会	3	水	○郡山アーバン	3	土	米山奨学生研修旅行
4	月		4	木	○郡山南	4	日	米山奨学生研修旅行
5	火	○いわき小名浜	5	金	○福島東	5	月	ガバナーエレクト研修セミナー
6	水	○いわき勿来	6	土	米山カウンセラー研修会	6	火	○南相馬 ガバナーエレクト研修セミナー
7	木	○いわき平	7	日		7	水	○川俣 DTS
8	金	○いわき平中央	8	月	○福島しんたつ	8	木	○原町
9	土		9	火	○福島北	9	金	
10	日	米山奨学生 卓話研修会	10	水	○二本松	10	土	
11	月	○いわき常磐	11	木	山の日	11	日	
12	火	○いわき内郷	12	金		12	月	
13	水	○いわき平東 ○いわき四倉	13	土		13	火	○滝根
14	木		14	日		14	水	○富岡
15	金		15	月		15	木	○浪江
16	土		16	火		16	金	
17	日	公共イメージ・IT委員会セミナー	17	水	○福島南	17	土	社会・国際奉仕委員会セミナー
18	月	研修委員会セミナー 海の日	18	木	○福島	18	日	
19	火	○郡山東	19	金		19	月	敬老の日
20	水	○郡山西 ○郡山西 RAC	20	土		20	火	
21	木	○いわき桜	21	日	クラブ米山委員長セミナー	21	水	○原町中央
22	金		22	月		22	木	○三春
23	土	会津若松 RC70 周年記念式典	23	火	○梁川	23	金	秋分の日
24	日		24	水	○福島中央 ○福島中央 RAC	24	土	
25	月	○郡山北 ○福島グローバル（夜）	25	木	○飯坂 ○福島 21（夜）	25	日	第2回スポGOMI大会inふくしま
26	火	○郡山安積	26	金		26	月	○須賀川
27	水	○郡山西北	27	土	地区青少年奉仕セミナー	27	火	○白河 ○しらかわ RAC
28	木	○郡山	28	日	R L I 第5期パート I	28	水	○本宮
29	金		29	月		29	木	○石川
30	土	米山奨学生体験発表会	30	火	○相馬	30	金	
31	日	ロータリー財団委員会セミナー	31	水	○保原			

2022年					
10月		11月		12月	
社会の経済発展月間／米山月間		ロータリー財団月間		疾病予防と治療月間	
1	土		1	火	
2	日		2	水	○会津若松
3	月	○会津若松南 ○会津若松南 RAC	3	木	文化の日
4	火	○東白川	4	金	
5	水	○常葉 ○小野（夜）	5	土	
6	木	○会津若松西	6	日	米山奨学生面接官オリエンテーション
7	金		7	月	
8	土		8	火	
9	日	RLⅠ第5期パートⅡ	9	水	○喜多方中央
10	月	スポーツの日	10	木	
11	火	○田島	11	金	
12	水	○矢吹 ○白河南	12	土	地区大会1日目RLⅠ会長代理晩餐会
13	木	○猪苗代 ○会津若松中央（夜）	13	日	地区大会2日目
14	金		14	月	
15	土		15	火	○喜多方 ○喜多方 RAC 公式訪問最終日
16	日		16	水	
17	月		17	木	
18	火	○会津若松城南	18	金	
19	水	○船引	19	土	第51回ロータリー研究会
20	木	○会津坂下	20	日	第51回ロータリー研究会
21	金		21	月	第51回ロータリー研究会
22	土		22	火	第51回ロータリー研究会
23	日		23	水	勤労感謝の日
24	月		24	木	
25	火		25	金	
26	水	○須賀川ぼたん	26	土	次期ガバナー補佐予定者研修①
27	木	○白河西（夜）	27	日	
28	金		28	月	
29	土	職業奉仕委員会セミナー	29	火	
30	日	地区大会記念ゴルフコンペ	30	水	
31	月				
					31 土

国際ロータリー第 2530 地区
2022 - 23 年度

地区大会のご案内

1日目 2022年11月12日(土)

会場：会津若松市 会津若松ワシントンホテル

会長・幹事会
地区指導者育成セミナー
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

2日目 2022年11月13日(日)

会場：喜多方市 喜多方プラザ文化センター

本会議
青少年関連プログラム
会員懇親会



委員長 五十嵐健展
副委員長 小熊 幸司
委員 密井 康一
委員 丹治 正博

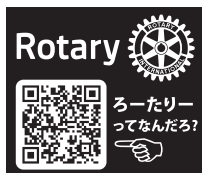
2022-23年度 月信委員会

委員長 五十嵐健展 (喜多方 RC)
副委員長 小熊 幸司 (喜多方 RC)
委員 密井 康一 (喜多方 RC)
委員 丹治 正博 (福島 RC)

本年度より、このメンバーで月信委員会を務めさせていただきます。一年という短い期間ではありますがよろしくお願い致します。

● 公共イメージIT委員会からのお願い ●

友人や知人の方にロータリーを紹介しましょう♪
スマホのカメラで QR コードを読み取ってください



一般向けサイト



Facebook ページ

今月の表紙紹介



写真提供：
(一社) 喜多方観光物産協会

雄沼沼周辺に広がる湿原には、高山植物が群生しており、国の天然記念物にも指定されております。沼周辺には散策用の木道が完備され、木道を歩きながら約280種類にも及ぶ高山植物を満喫出来ます。例年ニコウキスゲの見頃は6月下旬から7月上旬です。